

## Ⅲ 医療機関における法改正への対応

3. 診療放射線技師法改正へ向けた  
公立福生病院における対応  
——現状および今後の展望

中村 豊 公立福生病院医療技術部診療放射線技術科

2021年5月21日、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案」が国会で成立、2021年10月1日には今回の法案成立を受け、診療放射線技師法が改正・施行される。これにより、省令改正での対応を含め、新たに6つの業務を診療放射線技師が担うこととなるが、今後これらの業務に対応することは、一般的な規模の病院施設においては、決してハードルが低いとは言えない。本稿では、現在の当院でのタスクシフトへの取り組みを紹介し、考えられる今後の課題・展望について述べることにする。

施設概要・放射線科・診療  
放射線技術科について

当院および放射線科・診療放射線技術科の概要について、図1、2に示す。

施設におけるタスクシフト  
の現状

当院では、「公立福生病院勤務医師及び看護職員の業務負担軽減委員会」を設置・開催し、医師・看護師が診療に専念できる勤務環境を整備および各職域における業務分担の検討を行っている。

医療事務作業補助者・予定手術前日の当直や、夜勤への配慮・当直翌日の業務内容に対する配慮などを筆頭に、業務分担などに関しては委員会にて常時見直しを行い、現在に至っている。

現在の当院での診療放射線技師の業務分担における役割を表1に示す。

放射線科・診療放射線  
技術科におけるタスクシフト  
への取り組み

放射線科・診療放射線技術科におけるタスクシフトの取り組みとしては、前述の委員会内で決定した診療放射線技師が担う医師の処遇改善項目を業務として遂行している。また、遂行に当たっては、「業務拡大に伴う統一講習会」(2015年～、日本診療放射線技師会)

を受講したスタッフが業務を担っている。

現時点での講習会受講率は87% (13名受講済み、コロナ禍の影響にて未受講2名)となっており、今後全員受講の予定である。

さらに当院では、放射線診断医との協議にて、安定した画像の提供が重要な読影補助の一端と考え、以下の業務の徹底を行っている。

〈診断補助業務〉

- ・緊急時画像報告のための画像カンファレンス
- ・日常点検
- ・終業時全画像チェック
- ・照射録の疑義照会
- ・検査説明 など

今回の法改正の決定を  
受けての当院診療放射線  
技師の意識調査

今回の法改正を受け、科内ミーティングにて概要の周知・意識調査を行った。

結果として、大半のスタッフは法改正、日本診療放射線技師会が行う告示研修に対し高い認識を示していた。実際に行う医療行為への意識に関しては、賛成が過半数を占めているものの、賛成者全員が慎重に対応すべきとの回答であった(図3)。これは、スタッフに業務負担の増加に対する懸念が見られるためであり、タスクシフトの導入に際しては、体制の整備など慎重に議論すべきと考えられる。さらに、行為別の集計では、注腸X線